

第53回ふじみ衛生組合地元協議会会議録

- 1 開催日時平成30年2月13日(火)18時30分から19時55分まで
- 2 開催場所クリーンプラザふじみ3階研修ホール
- 3 委員出欠出席22人(欠席者6人)
出席委員 佐々木善信(会長)、浅野秀美、石坂卓也、岩元義文、宍戸良雄、島田猛
鈴木和夫、武谷宏二、田中一枝、牧野隆男、増田雅則、矢田部正丈
山添登、山田攻、山田知英美、山本益雄
井上稔(副会長)、荻原正樹、岡田賢一郎、宮崎治、小垣外孝、大野憲一
- 4 出席者
事務局 今村好一、岩崎誠、大堀和彦、中村和正
エコサービスふじみ株式会社 久保寺高広
パシフィックコンサルタンツ株式会社 吉留雅俊
- 5 傍聴者1人
- 6 次第
 - 1 開会
 - 2 報告事項
 - (1) 第52回ふじみ衛生組合地元協議会議事録要旨について
 - (2) 施設の運転結果について
 - ① ごみ搬入・灰等搬出(平成29年4月～平成29年12月)について
 - ② 環境測定結果(平成29年4月～平成29年12月)について
 - (3) 第5回ふじみまつり報告について
 - (4) 水銀対策について
 - (5) 平成29年度ごみ処理相互支援結果について
 - (6) リサイクルセンターの更新検討について
 - 3 協議事項
 - (1) 平成30年度地元協議会スケジュール(案)について
 - (2) 第6回ふじみまつりについて
 - (3) 平成30年6月(予定)施設見学候補地について
 - 4 その他
 - (1) 次回日程
 - (2) その他
 - 5 閉会

【配布資料】

- 【資料1】 第52回ふじみ衛生組合地元協議会議事録(要旨)
- 【資料2-1】 ごみ搬入・灰等搬出結果(平成29年4月～平成29年12月)
- 【資料2-2】 環境測定結果(平成29年4月～平成29年12月)
- 【資料3】 第5回ふじみまつり報告
- 【資料4】 水銀対策について
- 【資料5】 平成29年度ごみ処理相互支援結果
- 【資料6】 リサイクルセンターの現状と課題(当日配布)
- 【資料7】 平成30年度地元協議会スケジュール(案)
- 【資料8】 平成30年度施設見学候補施設(案)資料
- 【参考資料1】 ふじみ衛生組合インフォメーション2017
- 【参考資料2】 広報ふじみ2017年11月5日号
- 【参考資料3】 三調だより第14号(平成29年11月発行)

第53回ふじみ衛生組合地元協議会会議録

—18時30分開会—

事務局 : それでは、定刻になりましたので、第53回ふじみ衛生組合地元協議会を開催いたします。

皆様には、お忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。

(資料確認)

今後の議事進行は会長にお願いいたします。

会長 : それでは、これから私が進行させていただきます。よろしくお願いたします。

本日は、21名の委員の皆様に出席いただいております。会議は成立しております。

なお、小林副会長は所用で本日は出席できないという連絡をいただいております。

それでは、次第に従いまして報告事項1番目の議事録要旨について、皆さん事前に確認されていると思いますが、何かありましたら、ご意見いただきたいと思ひます。

特にないようでしたら、公開の手続に入りますけど、よろしいですか。

(「異議なし」と言う者あり)

会長 : 事務局、お願いいたします。

報告事項2番目の施設の運転結果について、ごみ等の搬入、搬出結果についてC委員、お願いいたします。

C委員 : 21ページの資料2-1を御覧ください。

平成29年4月から12月までのクリーンプラザふじみのごみ処理実績についてご報告いたします。

上のグラフを御覧ください。可燃ごみの搬入実績でございます。三鷹市の搬入量は2万1,770.85トンとなり、前年度比で106.39トン、約0.5%増、調布市の搬入量は2万5,825.95トンで、前年度比で381.53トン、約1.5%増となりました。また、リサイクルセンターで発生した可燃性残さのクリーンプラザふじみへの搬入量は5,557.01トンで、前年度比で59.58トン、約1.1%の減となりました。小金井市からの搬入量は2,143.53トンとなりました。

なお、小金井市からの搬入は平成29年4月から開始され、年間3,500トンを上限として受け入れを行っております。

以上の結果、可燃ごみの搬入量は5万5,297.34トンとなり、前年度比で2,571.87トン、約4.9%の増となりましたが、これは先ほどご報告いたしま

した小金井市からの可燃ごみ搬入量の増が主な要因となっております。

次に下のグラフを御覧ください。クリーンプラザふじみの搬出実績及び電気量についてご報告いたします。下のグラフの右下に記載のとおり、焼却灰の搬出量は4,173.70トンとなり、前年度比で27.23トンの減、飛灰の搬出量は1,435.24トンとなり、前年度比で207.63トンの増、鉄分の搬出量は144.47トンとなり、前年度比で20.30トンの増、焼却量は5万1,139.09トンとなり、前年度比で2,624.14トンの増となりました。また、発電量は2万6,843.46メガワットアワーとなり、前年度比で2,239.17メガワットアワーの増で、売電量は1万9,552.74メガワットアワーとなり、前年度比で1,971.23メガワットアワーの増となりました。

なお、下のグラフにおきまして10月及び12月の焼却量並びに発電量及び売電量のグラフが大きく下落しておりますが、10月は1号炉、12月は1号炉、2号炉の点検整備のために焼却炉を停止したことによるものでございます。

続きまして、22ページをお願いいたします。

平成29年4月から12月までのリサイクルセンターにおける不燃ごみ等のごみ処理実績についてご報告いたします。

一番上のグラフが三鷹市の不燃ごみ等の搬入実績でございますが、搬入量は合計で6,778.86トンとなり、前年度比で165トン、約2.4%の減となりました。中心のグラフは調布市の不燃ごみ等の搬入実績でございますが、搬入量は合計で6,746.07トンとなり、前年度比46.86トン、約0.7%の減となりました。一番下のグラフは両市の不燃ごみ等の搬入量の合計でございますが、そのグラフの右下に記載のとおり、搬入量は合計で1万3,524.93トンとなり、前年度比で211.86トン、約1.5%の減となりました。

以上のとおり、両市の不燃ごみ等の搬入量の実績といたしましては、前年度比でそれぞれ微減となっております。

個々の搬入量の実績のうち主なものとしては、一番上の三鷹市のプラスチックの搬入量が前年度比で214.48トン、約7.4%の減となりましたが、これは平成29年4月からの汚れたプラスチックを燃やせるごみで出す点の分別方法の変更が影響しているものと考えております。また、不燃ごみは、三鷹市の搬入量が前年度比で66.84トン、約5.1%の減、調布市の搬入量は65.30トン、約2.4%の減と両市とも減となりました。一方、三鷹市のびん・缶の搬入量は前年度比で102.66トン、約6.8%の増、ペットボトルの搬入量は前年度比で22.69トン、約4.4%の増となりました。

続きまして、23ページをお願いいたします。

平成29年4月から12月までのリサイクルセンターにおける有償・無償の資源物搬出並びに逆有償の資源物及び熱回収搬出につきましてご報告いたします。

上のグラフが有償・無償の資源物の搬出状況でございますが、上のグラ

フの右に記載のとおり、搬出量の合計は7,052.94トンとなり、前年度比では185.30トン、約2.6%の減となりました。右から3つ目の容リ・プラスチックの搬出量が前年度比で270.12トン、約7.9%と大きく減となりましたが、これは先ほどご報告させていただきましたプラスチック搬入量の減が主な要因となっております。また、左から6つ目のペットボトル梱包有の平成29年度分の搬出量の実績がゼロとなっておりますが、これは平成29年4月よりペットボトルの搬出先を日本容器包装リサイクル協会のみに変更いたしましたことから、右から2つ目の容リ・ペットボトルのところに搬出量の実績が移動していることによるものでございます。従いまして、容リ・ペットボトルの搬出量は増加しております。

次に、下のグラフを御覧ください。逆有償の資源物及び熱回収搬出についてご報告いたします。搬出量の合計は5,655.87トンとなり、前年度比で60.71トン、約1.1%の減となりました。個々の搬出量の実績のうち、主なものは、蛍光管の搬出量が前年度比で2.53トンの減、消火器等の処理困難物の搬出量が前年度比で1.5トンの増となりました。リサイクルセンターで発生した可燃性残さの搬出量は前年度比で59.58トン、約1.1%の減となりました。

以上の結果、平成29年4月から12月までの資源物等の総搬出量は、1万2,708.81トンとなり、前年度比で246.01トン、約1.9%の減となりました。

平成29年4月から12月までのごみ処理実績の報告は以上でございます。

会長 : ありがとうございます。

それでは、ただいまのご説明で何かご質問、ご不明な点いかがですか。よろしいですか。ほかに質問がなければ、環境測定結果についてE委員からお願いいたします。

E委員 : 24ページ環境測定結果です。前回の会議は11月7日でございましたので、そのとき報告したものを以降になりまして、主に11月以降のものについて報告します。

まず、一番上の段ですが、先程お話がありましたように、点検等の関係で12月の初旬から下旬にかけて、1号炉、2号炉とも休炉になっていました。

次の段の排ガス測定ですが、10月と11月の測定結果となりまして、ばいじんは0.001g/m³N未満でございます。いおう酸化物は1.6ppmが最高でした。窒素酸化物は34ppmが最高でした。塩化水素は0.8ppmが最高でございました。ダイオキシン類は0.0000014ng-TEQ/m³Nが最高でした。それから、水銀は0.004mg/m³Nが最高でした。一酸化炭素は2ppmが最高でした。それから、鉛、カドミウム、亜鉛はそれぞれ0.004mg/m³N未満でございまして、前年同期と比較いたしましてもほぼ同様の傾向でありますし、また、それぞれ規制値以下でございました。

続きまして、騒音・振動・臭気・排水の測定は、こちらは11月と1月に

測定していますが、まだその結果がこちらに届いていないものでございます。

周辺大気も、まだ報告は届いておりません。

続きまして、放射能に関する測定です。こちらは11月から1月までの結果となっております。焼却灰は11Bq/kgが最高でございました。それから、飛灰は84Bq/kgが最高でした。それから、排ガスと排水はそれぞれ不検出という結果でございました。

続きまして、空間放射線量率でございますが、地上5cmと1mで測っておりますが、それぞれ0.08 μ Sv/hが最高でした。

これは全て前年とほぼ同じ傾向でございますし、また、規制値以下でございます。

次のページをお開けいただけますか。26、27ページでございますが、今ご紹介申し上げたそれぞれの測定結果をグラフで表したものでございますので、こちらは後ほどご確認いただければと思います。

会長 : ありがとうございます。

それでは、報告事項、ご質問ある方お願いいたします。

特にありませんか。では、私からちょっと質問していいですか。

これ環境測定をされていて、実際、以前水銀等の課題があったときに、搬入物の抜き取り検査をするとありましたよね。今もそれは継続してやっておられるのですか。

F 委員 : ごみの搬入車両の抜き打ち検査でございますが、現在も継続しており、平成29年度は年30回行う予定でございます。その抜き打ち検査の日は朝一番の車から夕方3時ぐらいまでの車を止めておりますが、1台止めて、袋をあけて全部検査するのに1時間程度かかりますので、1日にできる台数は6台程度でございます。

これは平成30年度以降も続けていきたいと考えているところでございます。

会長 : ありがとうございます。

やはりこれは取り締まりというわけではないのですが、そういうことを確認しているぞということを見せることが大事なことだと思うので、ぜひ続けていただきたいなと思います。

それでは、第5回ふじみまつりの報告です。F委員、お願いします。

F 委員 : それでは、資料28ページ、資料3になります。第5回ふじみまつりの報告ということでお話をさせていただきます。

まず、28ページ御覧ください。平成29年度第5回ふじみまつりの参加者数は総数で2,250名でございました。平成25年度、初年度が1,153名でしたので、初年度から比べますと2倍近い方にご来場をいただいたところでございます。これは5回行ったということで皆様に浸透してきたことと、三鷹市の市民駅伝と同じ日に開催されたという、その相乗効果もあったと考

えているところがございます。

続きまして、2の協力団体ですが、今年は新たに警視庁の調布警察署、杏林大学、花いっぱいプロジェクトボランティアの皆さん、花と緑のまち三鷹創造協会に新たにご協力をいただいたところがございます。

当日は、天候に恵まれたこともありまして、たくさんの方に来ていただきました。杏林大学と亜細亜大学の学生のボランティアさんなど、若い方がたくさん来ていただいたということと、親子連れが今年は多かったと思っております。今まで広報は新聞折り込みという形で行ってまいりましたので、新聞をとっていない方には広報が入らなかったということがございましたが、平成29年度は、一軒ごとにポスティングに変えておりますので、新聞折り込みをしなかったご家庭にも届いて子供連れの皆さんも多かったと思っております。

続いて実行委員でございますが、三鷹市、調布市の住民委員の皆さんにもたくさん実行委員としてご活躍いただきました。この地元協議会からも、三鷹市の小林委員、I委員、調布市の会長、G委員、J委員のご協力をいただいたところがございます。

実行委員会の開催経過でございますが、4に記載してありますとおり、4回の実行委員会、それと全体説明会を開催しています。

この実行委員会の中で、実行委員会のメンバーをもう少し増やしたほうがいいのではないかというお話を実行委員の皆さんからいただいたところでございます。

以上、第5回のふじみまつりの報告をさせていただきます。

内容につきましては28ページにブースの関係、それから、そのほかスタンプラリーですとか、エコワークショップの関係、全て記載させていただいています。

それから、ここにはありませんが、当日アンケートをとっております。

アンケートの内容ですが、大方の方は非常に楽しかった、引き続きやってほしいというご意見がございました。また、店舗数をもっと増やしてほしいというお話もございました。ただ、限られたスペースですので、どこまでアンケートに回答いただいた皆様のご意見を反映できるかは、今後の課題ではございますが、そういったご意見もあったということを申し伝えておきます。

会長 : ありがとうございます。

何かご質問ございますか。

今年のふじみまつりは天候も例年通り、従前の5回ずっと天気がいいのですけども、特に今回は午前中からの来場者が非常に多くて、午前中の売れ行きが非常に多くて、午後のお客さんに若干ご迷惑をかけてしまったという点があります。実行委員会等でもまたそこら辺の反省会でそういう話題も出ておりまして、その辺を次回開催は少しでも改善できるように努め

たいと考えているところです。

特にご質問ないようでしたら、次の項目に入りたいと思います。

それでは、報告事項4番目の水銀対策について。F委員。

F委員 : それでは、水銀対策について、31ページ、資料4を御覧いただきたいと思います。

水銀対策は、この地元協議会で毎回テーマとして取り上げさせていただいたところでございます。そして、JFEエンジニアリング(株)の新しい技術ということで、バグフィルターの前に水銀計を設置して早い段階で水銀の上昇をキャッチすることによって活性炭を早目に吹き込んで、水銀を除去しようという技術もご紹介させていただいたところでございます。

本日お配りしました31から33ページの資料でございますが、これは全国都市清掃会議という公益社団法人がございまして、その研究事例発表会が平成30年1月24日水曜日から26日金曜日にかけて山形市で開催されました。その事例発表会におきましてJFEエンジニアリング(株)が発表した内容をまとめたものでございます。詳しいお話は本日いたしませんですが、こういった公的な機関の発表会にも発表できるしっかりした技術だということは、今回分かったということが言えると思いますので、興味のある方は後ほど御覧いただければと思います。

それから、34、35ページでございますが、前回お配りしました資料に誤りがありましたので、その訂正をさせていただきます。35ページの表の下でございます。前回資料ではバグフィルターの前の水銀濃度0.01mg/m³N以上、100分移動平均値での比較と記載されていましたが、論文にもありませんとおおり、これは煙突水銀の濃度の誤りでございますので、本日お詫びを申し上げますとともに訂正をさせていただくものでございます。

それから、この水銀除去システムの関係でございますが、今月2月21日にふじみ衛生組合議会が開催されます。そこに平成30年度予算でこの新たな水銀除去システムの予算も計上したところでございます。議会で議決をいただければ、平成30年度から実機として導入する予定でございますので、よろしく願いいたします。

会長 : ありがとうございます。

何かご質問ありましたら、お願いいたします。

G委員 : よろしいですか。お願いします。

会長 : どうぞ。

G委員 : あまり関係ないですが、論文を読んでいましたら、緒言で言うように、今年の4月1日から水銀濃度が法的に規制されると書いてあるのですが、我々は既に実施済みですし、幸い新設設備のことも守っているということなので、問題はないのですが、あまたの焼却設備は全く野放しになっておりますよね。これはこの4月1日から実際にどのようなようになるのでしょうか。

会長 : はい、お願いいたします。

F 委員 : 大気汚染防止法が改正されまして、平成30年4月から焼却施設については水銀の測定が義務付けられます。ふじみ衛生組合のように既にある焼却炉、既設炉については基準がふじみ衛生組合と同じで0.05mg/m³Nでございます。これから新たにできるところ、新設の焼却施設についてはさらに厳しくて0.03mg/m³Nという基準が設けられます。

測定の方法でございますが、ふじみ衛生組合が実施しているような連続測定ではなくて、排ガスの排出量によりまして1時間当たり4万m³以上か未満かで分かれるのですが、排ガスの量が1時間当たり4万m³未満の比較的小型、ふじみ衛生組合もそこに該当するのですが、比較的小さな焼却施設については年2回、正確に言いますと、6か月を超えない範囲で1回実施するというところでございます。1時間当たり4万m³以上排出するような大きな焼却施設の場合には4か月を超えない範囲で1回ということですから、年3回測定をするということになっております。

会長 : はい。G 委員

G 委員 : もうほとんどざるですね、はっきり言って。我々もそのことをよく知っているわけですね。分かりました。ざる法だということがよく分かりました。

b副会長 : ざる法なのですが、ただ、水銀排出施設というのは大気汚染防止法では幾つか定めておりまして、その1つとして一般廃棄物処理施設も当たっているのですが、その場合に水銀排出施設として届け出をまずしなくてはいけなくなってくるので、そういった面ではどの工場が水銀を排出するかということだけの把握はできるようになっていきますので、日々の規制が入れられたらできないところはありますけども、そういった意味で排出施設をきちっと把握するという面では今回、一歩前進かなと思っております。

会長 : はい、どうぞ。

B 委員 : 確認ですけど、35ページに2の(3)、必要経費についてとありまして、年平均500万円と書いてありますが、先ほど議会に予算案を提出しているというのはトータル、15年間で計算しますと7,500万円になりますが、毎年やると500万円がいいということですけど、その予算案はどういう方法、どちらの方法なのでしょうか。

会長 : お願いします。

F 委員 : 予算の取り方という視点でご質問いただいております。平成30年度につきましては、単年度で500万円という予算を計上しております。

考え方は2つあると思います。15年間で7,500万円を計上する。これは債務負担行為でございますが、そういった予算の計上の仕方もございます。

ただ、こういった技術は非常に日進月歩で機械もいいものになる可能性もございます。また、新しい技術ですから、万が一止まってしまったとき、15年間で契約してしましますと、お互いに困るようなこともあろうかということで、とりあえず最初1年間契約をしようということで1年分の500

万円を組まさせていただきます。これが1年間順調に動けば、翌年度以降も引き続き予算を計上していきたいと考えているところでございます。

会長 : よろしいですか。

ほかの方、大丈夫ですか。だんだん込み入った話になってくると、選ばれた人しか発言できなくなるような気がしてきますけれども。

水銀の問題は特に関心を持っていきたいなと思っておりますので、皆さんも気が付かれたことは、どしどし質問を出すようお願いいたします。

ないようでしたら、次の項目に入りたいと思います。

それでは、よろしいですか。事務局、お願いします。

事務局 : それでは、資料の36ページでございます。ふじみ衛生組合・武蔵野市ごみ処理相互支援量でございます。

これについては定期点検をする際、年2回ずつでございますが、その間、炉が止まりますので、お互いに受け入れ依頼をして、量としてはそれぞれ600トンという量を融通し合うという形をとっています。武蔵野市から受け入れたものが598.49トン、ふじみから武蔵野市にお願いした分が597.81トンとおおむね600トンになっております。これは今までの平成25年度からの御覧の表のとおりおおむね600トンでやっております。

それぞれ2回ずつとしていますが、平成28年度に限り武蔵野市から3回受け入れております。総量は変わっていないのですが、これは武蔵野市のクリーンセンターの建て替えの関係で3回に分けて受け入れたものでございます。

会長 : ありがとうございます。

今ご報告がありました内容についてご質問ありましたら、お願いいたします。よろしいですか、ないようでしたら、報告事項の6番目、リサイクルセンターの更新検討についてということで、C委員、お願いいたします。

C委員 : それでは、机上に別紙で、資料6「リサイクルセンターの現状と課題」と書かれた資料がございますが、お願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、ふじみ衛生組合リサイクルセンターの現状と課題につきましてご報告いたします。

初めに、リサイクルセンターの概要についてご説明いたします。右上にふじみ衛生組合の施設の図がございますが、真ん中から右側の部分がリサイクルセンターでありまして、ここでは不燃ごみの処理を行っております。

その真ん中に中央棟があります。中央棟と記載された施設でございます。

この中央棟はプラスチックの貯留並びに不燃ごみ及びびん・缶のごみの処理を行っているリサイクルセンターの中心的施設でございます。その上の横長の施設が北棟でございますが、ここではペットボトルの貯留及びペットボトルのごみの処理を行っております。中央棟の右側です。縦長の施設がございますが、これが東棟でございます。東棟では不燃ごみの貯留を

行っております。

次に、リサイクルセンターの現在の施設状況につきましてご報告いたします。まず、中央棟の竣工でございますが、平成6年12月でありまして、竣工後、既に23年経過しています。この時間の経過に伴いまして中央棟の建屋及び機械設備が老朽化しております。また、中央棟は容器包装リサイクル法施行以前に竣工した施設でございますので、ごみの処理で容器包装リサイクル法の求める水準のごみの品質とすることが困難な施設のつくりとなっております。例えば、同じ処理ラインで午前中は不燃ごみの処理を、午後はプラスチックのごみの処理を行い、処理時間が短くなるためにラインを高速で運転し、かつ流すごみのかさを高くして日々のごみの処理を行っております。そのためにごみの処理作業が雑とならざるを得ず、ごみの品質の向上が見込めない状況でございます。その他といたしまして、貯留スペースが限られている、見学施設がないといった状況にあります。

裏面をお願いいたします。リサイクルセンター更新にかかる想定スケジュール（案）でございます。この想定スケジュール（案）はリサイクルセンターの更新を行う場合には大まかにこのような作業スケジュールとなり、左の上の基本構想の策定から、右下にございます新リサイクルセンターの竣工までに9年くらいかかると想定したものでございます。

会長 : ありがとうございます。

ご質問のある方。B委員。

B委員 : これは予算としては、予算上これはとってあるのでしょうか。その点だけお願いします。

F委員 : 委託料として検討のための費用を予算化してございます。

B委員 : それは承認されているのでしょうか。

C委員 : 来年度予算は、これからの議会におきまして審議いただく予定でございます。

会長 : よろしいですか。

A委員 : 会長。いいですか。

会長 : はい、石坂委員。

A委員 : その予算というのは外注、それとも調査の予算なのですか。どういう予算なのかお話ししていただきたい。

F委員 : 平成30年度に計上しました予算でございますが、基本的にはこのリサイクルセンターの方針に係わります基本的事項をもう一度確認しよう、今日の課題、これを解決しなければ更新したくてもできませんので、そういった課題について一つ一つ解決するためにコンサルタントに委託するという費用を組んだものでございます。この費用とは当然別にこういった検討内容につきましては地元協議会の皆様に適宜ご報告をして、皆様のご意見を伺いながら進めていきたいと考えているところでございます。

b副会長 : 補足しますと、資料裏面の一番上から2番目、このぐらいのところを検

討するための予算として、スケジュールがありますね、スケジュール(案)の左側の表側の基本的事項の確認、基本構想確定といった項目があるかと思いますが、この辺のところを平成30年度検討しようということで予算化しておりますので、まだまだ具体的な施設整備に行くにはその4番目ぐらいの施設整備詳細検討になりますので、まだ段階を踏む必要があるかなと思っています。ですから、そういった意味でどういった形でどのように今回更新を進めていくのかとか、それから、その更新する間、いろいろ課題を抱えておりますので、その間の処理をどうするのかといった幾つかの課題について議論していかないとなかなか前に進みませんので、そういった議論になろうかなと思っています。

会長 : はい、どうぞ。

B委員 : そうしますと、立ち入った質問させていただきたいのですが、先ほど機能的には改善するのが必要であるとお伺いしたのですが、これを見ますと大体、上から4番目の施設整備詳細検討の決定というのが4年目になっておりますね。4年間は現状維持でやっていくという結論になるのでしょうか。

会長 : はい、C委員。

C委員 : 竣工までは現在の施設でごみの処理をいたします。

会長 : よろしいですか。

はい、K委員。

k委員 : 今の現状の施設をそのまま、いろんな内容を変えるということであると思うのですが、場所的にはこの敷地のそのまま活用で、今、問題点がいろいろ、現状ございますね、それが改善されるような施設につくり直すということではよろしいのでしょうか。

F委員 : 今現在、この敷地の中において更新ができないかということを中心に検討を進めているところでございます。

ただ、実際にその施設がおさまるとい物理的な問題もありますのと、もう1つはやはり工事期間中もごみは発生するわけございまして、この工事期間中のごみをどのように処理していくのか、そういったものが解決されないと先に進めないということですので、まさに今そこを検討しているところでございます。

会長 : よろしいですか。

どうぞ。B委員。

B委員 : お尋ねしたいのですが、そのスケジュールに基づくと、全体で竣工まで9年間かかると。その前に23年が経過し、大分、老朽化しているよということがございますね。このスケジュール、極端に言うと、9年放っておいていいのかと思うのですが、あと、二枚橋で処理を行うという話を聞いたような気がするのですが、その辺も含めてどういう検討をされるのか分かりませんが、お聞かせ下さい。

F 委員 : 今ご質問いただいたとおり、既存の施設も毎年、傷んでまいりますので、既存の施設の機械の入れ替え、修理、そういったものは当然、必要だと考えておりますので、この検討の費用とは別に既存の施設の修繕費等予算計上していくということがございます。

それから、二枚橋の関係でございますが、調布市のびん・缶は現在もふじみ衛生組合で行っておらず独自処理をしているところでございます。

調布市は二枚橋焼却場の跡地利用で、やはりびん・缶の施設をそこに造ろうということで今、計画を進めているところとお聞きしております。

会長 : はい。やはりこういう問題になってくるとだんだん熱がこもってきますね。具体的な工程が予想してくるとね。

それで、ふじみ衛生組合でふじみ衛生組合の歩みという冊子が配られていると思うのです。委員の皆さん。何十ページか、立派な本になっているものがありますけども、私、今日この会議に来るに当たってそれを読んでいたのです。ふじみ衛生組合、非常に歴史があるなど。この地でいろいろ歴史があるので、やはりこの地をどういうふうにするかということも地域住民がよりどころになるところが含まれていますので、お帰りになりましたら、もう一度その本を読んでもらいたいと思います。

そのほかご質問なければ、次のテーマに行きますが、よろしいですか。

今のこの問題については多分これから進捗していく中でまた議論が深まっていくことになるのだらうと思います。事務局からもその都度、話が出てくると思いますし、また、我々住民からも時系列に従ってご心配事も出てくるのだらうと思うので、ご質問出るとは思います。

A 委員 : 新しい施設を更新というのですけども、F 委員がおっしゃったのですけど、ここの土地を前提にして施設を更新するという意味で、ここで更新する際に一時的に外に出してやるか、それとも現状のまま何とかやっていくのか。その辺のことを考えていらっしゃるのでしょうか。その辺をお伺いしたい。

会長 : お願いします。

F 委員 : 工事期間中になりますとやはり今やっている処理を止めなければいけないという期間が当然出てまいります。今、どのような品目について、大体どのぐらいの期間を止めなくてはいけないかということを検討しております。仮に外へ出すといたしますと、どのような荷姿にしないでいいか。

例えば、袋のまま、やぶかないでそのまま受け取ってくれるところがあるのか、それとも簡単に破碎して、内容を選別してある程度まとめて、分けて出さないと引き取ってもらえないのか、その辺も含めて、ヒアリングをやっているところでございます。

そのような状況でございますので、その結論が出ましたら、またご報告させていただきますけれども、いろいろ方法は考えているのですが、いず

れの方法にしましても工事期間中のごみの処理、これが最大の課題と捉えているところでございます。

会長 : よろしいでしょうか。

今はそれしか言えないのですよね。

それでは、リサイクルセンターについてやりましたので、次、協議事項に入りたいと思いますが、平成30年度地元協議会のスケジュール（案）について、事務局からご説明をお願いします。

事務局 : 37ページを御覧いただきたいと思います。

御覧いただくと、多いなと思われる方もいらっしゃるかと思いますが、本年度の実績を申し上げますと、施設見学が2回、うち1回はふじみ衛生組合のリサイクルセンターを見学しております。そのほかに埼玉県桜環境センターを視察したところがございます。そのほか、通常の会議を4回やっておりますが、平成30年度は、施設見学会は1回、会議を6回予定しております。

この2回増えた理由でございますが、ただいま資料6でお話しさせていただいたように、リサイクルセンター更新に係る検討が入ってまいりますので、2回程度増やすという想定で、必ず6回やるということではありません。今後の状況に応じて2回程度、増やすということを想定しております。

会長 : そのような報告ですが、よろしいですか。

b副会長 : 1点、補足してよろしいですか。

会長 : はい。b副会長。

b副会長 : 私から、地元協議会回数が多いという、負担が多いというご意見も実際いただいておりますので、そういった方々のご意見を斟酌しながら進めていきたいと思っておりますが、今、申し上げましたリサイクルセンターに関してその時々で議論しないといけないことが出てくるかと思っておりますので、その場合にゆとりを持って対応できるように、2回、今年度9月と3月、これは今年9月、3月やっていないです。この分、余分にセットしてありますが、これはリサイクルセンターでどうしても議論が必要だということになった場合に開催できるゆとりを持って日程調整させていただいておりますので、場合によっては開催しない可能性も当然ございますので、その点お含みおきいただければと思っておりますので、よろしくお願いたします。

会長 : はい、ありがとうございます。

はい、A委員。

A委員 : やっぱり不燃施設の建て替え等重要な課題なので、回数を増やして万全を期すというのは賛成でございます。

会長 : ありがとうございます。

ほかにご質問よろしいですか。

私からちょっと。これは何も決定とか、そういうことじゃなくて、私が今ちょっと事務局と話をさせていただいているのは、今回この委員の中で、今日は女性の方3人ですけど、もう1名おられて、今までの委員構成の中では多い方ですね、それで、前々から私は自分で思っていたんですけど、この6時から8時という時間帯は女性の方にとって非常に出席しにくい、制約がある時間帯かと思っていて、もう少し女性が参加しやすい状況にならないものかと思っています。この開催スケジュールを含めてもう少し開催のあり方について検討できないかということは協議をしているところでございます。

ごみの問題は女性の感覚も大いに意見として出させていただきたいテーマでもありますし、安定稼働、一応、今までしているという、安定化してきたということ踏まえれば、もう少し生活に密着した内容でご意見が出るような方向にテーマを考えたいと思っておりますので、一応そのことだけつけ加えて、お話ししました。

それでは、次に行きますが、ふじみまつり終わったと思ったら、もうすぐテーマに上がっております、第6回ふじみまつりについて説明することとさせていただきます。お願いします。

F 委員 : ふじみ衛生組合といたしましては、地元の皆様との協働事業ということで平成30年度もふじみまつりを開催したいと考えているところでございます。

日程はまだ決まっておりませんが、例年どおり11月頃がいいのではないかと考えております。

また、従来どおり実行委員会方式をとりたいと思っておりますので、ぜひ地元協議会の皆様からも実行委員になりたいというお声を聞かせていただければと思います。今日すぐ決めるということではございませんので、次回の地元協議会において実行委員会のお話等もう一度させていただければと考えているところでございます。どうぞよろしく願いいたします。

会長 : 多分ご質問はないと思っておりますので、ここは前に進めたいと思っております。

協議事項の3番目、施設見学の候補地について事務局から説明をお願いいたします。

事務局 : 38ページからでございます。2か所の案を用意させていただいております。

1つ目は、38ページでございますふじみのエコウェルズ、平成28年10月稼働、これは昨年度も案として出したのですが、1年稼働していないということで、もう少し様子を見たらということで前回は採用しなかったものです。

施設規模としましては、38ページ中程、熱回収施設、1日当たり142トン、1稼働ですから、ふじみと同じ形式になるかと思っております。ふじみ衛生組合

の場合、144トンの炉が2つございます。ですから、288トン、ふじみ衛生組合の半分程度の規模でございます。

下の人口等御覧いただきたいと思いますが、ふじみ野市と三芳町、これはふじみ野市に負担金を納入して三芳町は参加しているという形をとっているようでございますが、人口合わせて15万2,000人程でございます。

ふじみ衛生組合は三鷹市、調布市合わせまして約42万人、36%強の人口でございますので、大体規模的にはこれぐらいになるのかなというところでございます。

ただ、施設は平成28年10月稼働ですので、新しい施設でございます。

リサイクルセンター関係についても、40ページを御覧いただければ、新しい設備を用いているのがお分かりになるかと思えます。

それから、案の2つ目でございます。42ページからになります。ここは埼玉県最終処分場でございます。埼玉県環境整備センター。この多摩で言えば、二ツ塚処分場に相当するかと思えます。

ここの施設は、最終処分場と各種の民間施設がございます。

7か所プラスアルファでございます。工場等の概要については、かなりの数がございます、申し訳ございませんが、後ほど御覧いただければと思えますが、産廃からの熔融施設、それから、総合リサイクル施設、廃プラスチックからのRPF、燃料製造でございます。それから、生ごみ・食品リサイクル、蛍光管リサイクル施設、焼却灰リサイクル施設、汚泥等のリサイクル施設等、さまざまな施設がここにまとまっております。

ただ、これだけありますと、一度に御覧いただくのは無理かと思えます。

最終ページでございますが、52ページを御覧いただきたいと思いますが、見学コースが定められておりまして、火曜日・木曜日は午前・午後でパターンが決まっております。また、水曜日は地元の方限定になっております。

それから、金曜日はオプションということで希望を出せる形になっております。クリーンプラザふじみから移動していきますので、午後4時頃に戻ってくるということになるので、多分ここの施設を御覧いただく場合、金曜日のオプションの中で、1回では無理かと思うので、何回かに分けて行くようなやり方になるかと考えております。

施設の案としては以上2点でございます。

会長 : はい、分かりました。

今この説明していただいた中で候補地を決めないといけない、仮予約をしないといけないということですが、皆さん決められますか。見ただけでは、どこを見学すべきか難しいですが、決をとらないといけないのですね。

B委員 : はい、会長。

会長 : はい。B委員

B委員 : 今の52ページ、最初に、1日の受付できる施設は各コース1組です、1回の定員は28名以内ですと書いてありますが、組み合わせはどうなるので

すか。うちのふじみ衛生組合だと40、50人ぐらいになるのではないかと思うのですが、そこをどうお考えになるか。

事務局 : まだ視察先には当たっていないのですが、先ほど申しましたとおり、B委員おっしゃったとおり、この火・木に入っていくとなると、大体ふじみ衛生組合から参加すると20人を超えますので、火・木について一般の方、全くゼロの状態に入れたいだろうなと思っております。それから、バスで行きますので、移動手段については確保できると思いますが、先にふじみ衛生組合だけで火曜日・木曜日を希望した場合に先方に了解してもらえるか疑問がございますので、先ほど申し上げたとおり、金曜日にオプションでお願いするようになるかなと考えております。

会長 : はい。A委員。

A委員 : 私は個人的に三芳町がいいなと思って、小さな三芳町はまだ別の意味で江戸時代に畑の三富新田の地で有名なところですね。

私はふじみ衛生組合で不燃施設の更新がありますから、新しい不燃施設を見学できる回数を増やしていただいて、僕らも関心を抱くような形で計画していただければと思いますが、東京都の場合、多摩の日の出町へ行きましたので、大体想像はつくわけですから、あまり大きいところじゃなくて、そういう不燃施設の最新の設備があるところを見学させていただけるとありがたいなど。武蔵野市は見ましたし、なかなか立派なので。

会長 : 他に、ご意見ありますか。

k委員 : すみません、今この42ページのPFIサーマルリサイクル施設というのがこの下に出ていますが、この意味が分からないのですけれども、こういう非常にエコな施設が、右のところの説明を読むと、これから近未来的にふじみ衛生組合も取り組んでいかなければ、すでに一部取り組んでいらっしゃるかも知れませんが、そういうところに興味を持ったのですけれども、それぞれ別々のところにあるのか、ある程度一固まりにあるのか教えていただけますか。

注

PFI : 公共事業を実施する手法の一つ。地方公共団体が発注者となり、民間の資金と経営能力・技術力を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法です。

F委員 : 42ページの写真にもございますとおり、最終処分場の隣に工業団地的に幾つかの会社が集中して建っています。これを幾つかセットで見ようというのが2つ目の案でございます。

この事業者でございますが、サーマルリサイクルはオリックス資源循環株式会社と書いてございます。それぞれ事業者がございまして、事業の内容も違いまして、こちらに行った場合には通常の廃棄物の処理から、普段

はなかなか見られない生ごみのリサイクルですとか、蛍光管のリサイクル、焼却灰のリサイクル等セットによっては見る事が可能な施設でございます。

G 委員 : よろしいでしょうか。

会長 : はい、G 委員。

G 委員 : 私自身は、生ごみの食品リサイクル、非常に難しいのですね、実際にやろうと思うと。それを本当にやっているのかなと思って、もし見せてもらえるなら、ここを見たいなと思います。どのように堆肥になっているのかと。なっているなら、我々もできるかもしれない。その辺を実際に見学できるならばおもしろいなと思います。

事務局 : ここの説明で、45ページの説明ですと。

G 委員 : できるように書いてあります。でも、本当かなという気がします。

b 副会長 : 東京だと、城南島でやっているのと同じだと思います。ですから、府中市さんが入れているのがありますけど、どちらかというところ、一般廃棄物、家庭ごみを収集していくというよりは事業系ですね。

G 委員 : ああ、業者の、事業系ごみ。

b 副会長 : 事業者の方が主だと思います。食品関連事業者と書いてございますように、そういった方々が中心でやられていると思います。

それから、先ほど k 委員からありましたオリックスの P F I ですが、ここは実は調布市が広域支援をお願いしている時代に、事業系ごみは他の一般廃棄物処理施設に入れられないということから、県境を越えて、積み替えをしてこのオリックスに運んでいました。

私も一度行ったことがあります、山の中の、ホンダの寄居工場のすぐそばに、山を切り開いたような広いところに工場が点在しているので、中の移動は車でないと移動できない、そういう広さのところ、幾つかの施設が点在しているといったところでございます。

会長 : 多分この間、恵方巻の大量廃棄でしたか、捨てられたというのでニュースになっていましたよね。そういうところがここに入ってくるということですね、多分、家庭系じゃないから。

それでは、何か方向付けをしなきゃいけないとなっているので、もうこれは予約しないと次の過程に進めないのですね。

どういうコースに決めていくかというのを、候補地を選定したいと思うのですが。このあたり詰まっているようで詰まっていないような感じですが、もう少し何か発言もraitたいのですが。

A 委員 : 大きいところは難しいですか。三芳町の方が従来と同じように1回で終わるのではないですか。あれこれ計画しても後でだめになるとか。そういう意味でも今回、三芳町でいかがですかと考えます。

会長 : 見学したいものの違いと思いますが、いずれにしてもリサイクルセンターの今後の在り方に役立つもの、私たちの意見に役立つものと、できれば

そういう形で見学したいなと思いますね。

それで、先ほど地元協議会の開催が例年より多いということでございますが、そういう回数を有効に、充実する内容になる施設見学会でありたいなと思います。

B 委員 : これは会長がお悩みになるのもよく分かるのですが、A 委員によると、小規模で効率がいいとか、それと、ここにあるように拡大していった場合の在り方の処理だとか、いろいろ考え方があると思う。三鷹市はまだ発展するから、ある意味では規模の大きなところを見て、その処理の仕方を見ておいたほうがいいのかなどは思っているのですが、いろいろ各委員のご意見があると思いますから、どうしようもなかったら決をとるしかないのかなと思います。

会長 : まとめていただいて、ありがとうございます。
それでは、もう決めましょう。

k 委員 : ちょっとその前にいいですか。

会長 : はい。

k 委員 : せっかくリサイクルセンターを新しくするという、また、色々なところを見学したいという話も出てくるのですが、具体的に今このリサイクルセンターの跡地でやるということになりましたら、これだけ民家が密集している、その中で、昔も話が出たと思いますが、臭気があるとか、いろんなごみが飛んでくるとか、近隣の方に随分迷惑がかかっているというお話がありましたので、そういうことにならないところを大前提として考えていただいて、その参考になるというところでいかがでしょうか。

会長 : A 委員どうぞ。

A 委員 : よく分からないのですが。規模が小さいというのはここだってそんなに大きくないでしょう。だから、共通点がある。僕は不燃施設を見たいということなのです。簡単に言えば。それがこの地域、また、ふじみ衛生組合、それから私たちの地域もこれからの大きな課題だと思っています。だから、そういう意味でも、大きい施設で、大体出してくるときはこういうコースで回るぐらいお膳立てして出していただければ決めやすいのですが、漠然とどうでしょうかと言われても、大きすぎて、皆さん見るところ違うじゃないですか。今、G 委員とか、それぞれ興味にするところが。

そういう意味でも、採決をするのはどうするのかなど、決めても、若干思ったりしています。私としてはそういう不燃施設に焦点を置いて今回見たいなというのが気持ちです。

会長 : それではこれ仮に A 案と B 案というふうに称していいのでしょうかね。

B 委員 : ちょっといいですか。

会長 : はい。B 委員。

B 委員 : さっきからしゃべり過ぎて申し訳ございません。この決定権は会長ということで、会長一任でいかがでしょうか。

会長 : 非常にありがたいような、いや、何とも言いにくいのですが。分かりました。そういうことならば、我々の当面の今課題であるところはリサイクルセンターをどうしようかということなので、それに資するものということでA委員の提案に集約したいと思いますが、よろしいですか。

(拍手)

会長 : では、そういうことでまとまったということをお願いいたします。
それと、この資料の出し方もちょっと工夫していただくと、協議しやすくなると思うので、これは次のときをお願いいたします。

ぜひ見学に行つて、いろんな情報を収集して、せつかく事務局が最大限頑張ってくれて日程までとってくれたこの会議日程を充足するようになればしたいなと思います。

その他になりますね。その他、次回日程、事務局、何かございますか。

事務局 : 大分先の話ですが、新年度になりますので、専門委員会が4月23日を予定しております。その結果の報告をさせていただきたいと思いますので、5月の連休明けになってしまいますが、5月7日の月曜日か8日の火曜日でいかがでしょうかということでございます。

会長 : 協議の結果、5月7日の月曜日に決定いたします。

事務局 : ありがとうございます。

事務局 : 時間については一応恒例といいますか、6時半から開始ということで。およそ1週間前ですから、4月の末ぐらいにまた資料を届け、ポストイングさせていただきたいと思いますので。環境測定結果等については1年分の決算の数字になるかと思います。

会長 : k委員。

k委員 : 時間というよりも、前々からお願いしています、土曜日開催、昼間開催とかいうのが一番女性もゆったりという気持ちでできるのですが、その点どうでしょうか。

会長 : H委員はご意見ありますか。

H委員 : 土曜日はほかの自治会とか、その他の会議がほとんど土曜日も入っています。多いときは土曜日3回ぐらい入る。できれば土曜日は除いていただきたい。

会長 : この開催時間については、今日こんな話を提議したものですから、特に今後、継続的にそのことを頭に置きながら、今まで夜の時間当たり前のようにやっていたことを少し幅広く考えて開催の検討をしたいというのが私の思いです。そこは事務局とも話し合わなければいけないことだと思いますので、今後は念頭に置きながら開催時間についてはもう少し幅がとれるように、今後は含みを持って考えていきたいと思いますので、その辺でご容赦ください。

その他でございますか。b副会長。

b副会長 : 昨年4月から小金井市の広域処理ごみを受け入れておりますが、そのときは事務方が来て説明とお願いをしていたかと思います。何人かの委員さんから小金井市長が来て挨拶すべきではないかという話もいただいております。私ども小金井市に確認いたしました。小金井市長さんもしできれば地元の皆さんにきちんとご挨拶をしたいというご意向をお持ちということで伺っております。ここでご賛同いただければ、次回5月7日に小金井市長に出席いただくようお願いしてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

会長 : これは結構なことですね。来ていただいてよろしいですね。

(「異議なし」という声あり)

会長 : 全員賛成ということでお願いします。
ありがとうございます。
本日はこれで全ての議題が終わりました。どうもお疲れさまでした。

—19時55分散会—